

集義の星

しゅうぎのほし
～LOVE & JUSTICE～

本渡北小学校
学校通信
令和8年1月28日
文責・木村純一

16



2026年もよろしくお願ひします



2026年、3学期が始まりました。子どもたちにとって、3学期は、次の学年を視野に入れた準備の学期でもあります。しっかりと進級の準備を進めてほしいと思います。特に6年生、進学を迎えた大切な準備期間になります。いいことは褒められて、よくないことは注意されて、何でも言われてていたステージから、自分で考え、判断するステージへと進みます。それにはもちろん、責任も伴います。言われなくともきちんと、自分を律することが、この先の人生に大きく影響します。楽を選ぶか苦労を選ぶか、人生のフローチャートはもう始まっています。しっかりとがんばってほしいなと思います。卒業に向けてがんばる6年生を本渡北小全職員で応援したいと思います。もちろん1~5年生のみなさんも、次の学年への進級に向けてしっかりとがんばりましょう。



チャレンジの3学期に！



始業式で私はこんな話をしました。
「校長先生は、苦手なことや新しいことにチャレンジする3学期にしてほしいと思います。そのチャレンジが、4月、6年生は中学校に進学したとき、1~5年生のみなさんは、ひとつ上の学年に進級したとき、絶対に役に立つと思っています。校長先生は、人生はチャレンジだと思っています。きついから、わからないから、と言う理由でチャレンジをあきらめないでほしいと思います。」



3学期は、あっという間に終わります。今度しようと後回しにしていたら、あっという間に3月が終わります。やると決めたことを今、しっかりとがんばってください。」



人生はチャレンジの連続です。できなかったことや苦手なことへチャレンジする、未知の世界に飛び込む、いずれもストレスがかかります。しかし、いずれもチャレンジしたものしか見ることのできない風景があります。私はその風景を見ることで、次のチャレンジが始まるのだと思っています。



子どもたちにはたくさんチャレンジしていろいろな体験をしてほしいし、それらの体験から、「自分はどう生きるか？」という目標をつかんでほしいと思います。それは私たち大人もそうですね。私も60の節目を迎えるこの春、自分のこれまでの人生を見つめ、そして、「自分はどう生きるか？」としっかり目標を立ててがんばりたいと思っています。

←↑新学期の授業や無言掃除の様子

「AMAKUSA DAY」

での北っ子の活躍↓→



↑始業式等

